

# 冬道(積雪・凍結路)では、“スリップ事故”が多発!

だから…運転を「冬型」にチェンジすることが肝心です!

これからの季節、寒冷地や峠道などでは、路面が雪や氷に覆われた「冬道」が出現しやすくなります。冬道は非常に滑りやすいため、夏場と同じ感覚で運転していると「スリップ事故」を招く危険性が高くなります。

## 「冬型」運転のポイント①

### ジワジワと発進する!



- \*冬道では、発進時にアクセルをいきなり踏み込むと、タイヤが空回りして発進が困難になります。
- \*ブレーキを緩めるだけでゆっくり前進を始める「クリープ現象」を活用して発進したあと、徐々に加速しましょう。

## 「冬型」運転のポイント②

### 同時操作をしない!



- \*冬道では、ハンドルを操作しながらアクセルやブレーキを踏むと、横滑りやスピンを招きやすくなります。
- \*アクセルやブレーキの踏み込みを戻してから、ハンドルを操作するようにしましょう。

## 「冬型」運転のポイント③

### ブレーキはソフトに!



- \*冬道でブレーキを強く踏むと、タイヤの回転が止まり、制動距離が延びたり、ハンドル操作での進路の修正ができなくなったりします。
- \*早めにアクセルを戻し、エンジンブレーキで徐々に減速したあと、最後に軽くブレーキを踏んで停止しましょう。

## 寒冷地や峠道を通るときは、あらかじめスタッドレスタイヤに交換!

★夏タイヤのまま冬道を走行すると、立ち往生や事故を起こして交通に混乱を招く危険性が非常に高くなります。出発前に天気予報や道路情報を確認しておき、通行するルートで積雪や凍結のおそれがある場合は、あらかじめスタッドレスタイヤに交換しておきましょう。

# 令和6年 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

運動の期間 令和6(2024)年12月11日(水)から31日(火)までの21日間

交通安全スローガン 「マナーアップ! あなたが主役です」

- 運動の重点
- (1) こどもと高齢者の交通事故防止
  - (2) 飲酒運転等の根絶
  - (3) 自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
  - (4) 「ライト4(フォー)運動」、「原則ハイビーム」の推進と反射材用品等の着用促進



# 下野地区交通安全だより



基本をしつかり身につけよう!

★ウインタースポーツの定番であるスキーをケガなく楽しむためには、まず最初に基本をしつかり身につけることが重要です。これは交通場面でも同じです。冬は年末にかけての忙しさからつい油断して危険な行動をする人が増えたり、地域によっては降雪や寒さで道路環境が一変したりするなど、事故のリスクが高い季節でもあります。無事故で年末年始を迎えるために、安全な行動の基本を身につけ、しっかりと実践しましょう。

上三川町・下野警察署  
下野地区交通安全協会  
下野地区安全運転管理者協議会

# 歩行者・自転車利用者の皆さん

何かと忙しく余裕がなくなる冬… こんな危険な行動をしていないかセルフチェックしてみましょう！

1 車があまり通らない道路だと、いきなり横断していませんか？

心当たりのある人は…

危ない！



◆交通状況を熟知している道路では油断が生じやすく、いきなり道路を横断する歩行者が少なくありません。そのため、**横断中の歩行者と車が衝突する事故が多発**しており、特に横断後半、左からきた車と衝突するケースが多くなっています。

だから歩行者は必ず実践！

- 道路を渡る前に必ず一度立ち止まり、左右から車が近づいてきていないか確認してから横断しましょう！

ドライバーも必ず実践！

- 人通りの少ない道路でも、歩行者がいきなり渡ってくるかも…と警戒し、歩行者の早期発見に努めましょう！

2 青信号の横断歩道を渡るとき、前ばかり見ていませんか？

心当たりのある人は…

危ない！



◆横断歩道の信号が青だと油断して、車の動向に目配りせず、前ばかり見て横断する歩行者・自転車利用者が少なくありません。そのため、**交差点を右・左折してきた車と横断中の歩行者・自転車が衝突する事故が多発**しています。

だから歩行者・自転車利用者は必ず実践！

- たとえ信号が「青」でも油断せず、横断前だけでなく横断中も交差点を広く見渡し、右・左折車の有無をしっかりと確認しましょう！

ドライバーも必ず実践！

- 交差点を右・左折するときは、横断歩道上やその付近に歩行者や自転車がいないか自分の目で確認しましょう！

3 一時停止をせず、いきなり交差点を通行していませんか？

心当たりのある人は…

危ない！



◆特に交通量が少ない住宅地では、「めったに車はこないから…」と油断して安全を確認せずにいきなり交差点に進入する自転車利用者が少なくありません。そのため、**車と自転車が出会い頭に衝突する事故が多発**しています。

だから自転車利用者は必ず実践！

- 普段あまり車が通らない交差点でも、交差点の手前で必ず一度止まり、交差道路から車がきていないか確かめてから通行しましょう！

ドライバーも必ず実践！

- 交差道路側に一時停止標識がある場合でも、交差点に突っ込んでくる自転車を予測し、安全を確認してから通行しましょう！

4 夜間、黒っぽい服で出歩いていませんか？

心当たりのある人は…

危ない！



◆夜間、車のドライバーからは、特に道路の右側から横断してくる歩行者がよく見えません。黒っぽい服装の歩行者はさらに見えづらくなるため、**横断中に車と衝突する危険性が高くなります。**

だから歩行者は必ず実践！

- 明るい色合いの服や反射材を着用し、暗やみでも目立つようにしましょう！
- 特に道路を半分渡り終えた横断後半、左からくる車の有無を確認しましょう！

ドライバーも必ず実践！

- 特にライトの光が行き届かない前方右側の暗がりからの横断歩行者を警戒しましょう！